

第 15 回「リハ協カフェ」

～第 5 回アジア太平洋 CBID 会議 現地参加報告会～

日時：2023 年 3 月 28 日（火）13：30～15：30

会場：リモート開催（Zoom）

主催：公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会

共催：障害分野 NGO 連絡会（JANNET）

参加費：無料

定員：100 名

趣旨

国際リハビリテーション協会（Rehabilitation International：RI）は、1922 年に設立された世界的な民間組織で、世界 100 カ国以上の障害者団体、障害者サービス提供団体、政府組織、障害関係研究者、支援者などが加盟しています。日本障害者リハビリテーション協会は日本の窓口です。

現在は、新型コロナウイルスの影響で海外からの訪問、RI 世界会議の延長等のため海外関連の報告会の実施は難しい状況にあります。

そのため、「リハ協カフェ」として、リモートによる報告会を開催することにより、本協会の情報発信を継続し、関係者への情報提供を行うことを企画し 2020 年 8 月より隔月で開催してまいりました。今回は、2 回のシンポジウムも含めて第 15 回目の開催です。

第 15 回は障害分野 NGO 連絡会（JANNET）と共催し、3 月 15 日から 17 日までカンボジア・プノンペンにて開催される『第 5 回アジア太平洋 CBID*会議』において、現地で発表予定の野際紗綾子氏（難民を助ける会 [AAR Japan] 支援事業部マネージャー）、伊藤智典氏（日本理学療法士協会国際事業課課長）、稲葉久之氏（日本障害者リハビリテーション協会「Let's 協力」研修アドバイザー）、上野悦子氏（日本障害者リハビリテーション協会 CBID*事業委員）より、ご報告をいただきます。

関係者以外にも広くご参加を募ります。皆様のご参加をお待ちしております。

* CBID: Community-based Inclusive Development 地域に根ざしたインクルーシブ開発

WHO が提唱し世界で取り組まれてきた CBID は、障害者を含む困難を抱える個人の地域社会へのインクルージョンのため、個人が社会に貢献し周囲との関係性に変化をもたらすことを目指しており、その概念には、地域の変革を引き起こすことがはじめから組み込まれています。人が人とかわかることは多様な資源につながることで、そこから課題解決を目指す取り組みが生まれ、そして一つの課題から別の取り組みへとプロセスが展開されます。

プログラム（敬称略）

13：30-13：35 開会挨拶

君島淳二（公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会 常務理事）

13：35-15：25 報告「現地での主な発表内容および報告」（仮）

※発表の合間に、質疑応答の時間も設ける予定です。

発表者：野際 紗綾子氏

（難民を助ける会 [AAR Japan] 支援事業部マネージャー／JANNET 企画委員長）

伊藤 智典氏

（日本理学療法士協会国際事業課課長／JANNET 研修・研究委員長）

稲葉 久之氏

（日本障害者リハビリテーション協会 「Let's 協力」 研修アドバイザー）

上野 悦子氏

（日本障害者リハビリテーション協会 CBID 事業委員）

15：25-15：30 閉会挨拶

清水 直治（障害分野 NGO 連絡会（JANNET） 会長）

15：30 閉会

*プログラムの内容に変更がある場合がございます。ご了承ください。

第5回アジア太平洋 CBID 会議

日時：2023年3月15日～17日

会場：プノンペン（カンボジア）

主催：CBID AP ネットワーク

共催：カンボジア組織委員会（政府機関が中心）

テーマ：パンデミックおよびその後における、障害者のための社会的・経済的
エンパワーメントの強化

サブ・テーマ：1. パートナーシップの強化

2. 障害者の充足した暮らし（Well-being）と社会的保護の促進

3. インクルーシブエコノミーの促進

4. パンデミックおよびその後における、CBID 関連の優れた事例及び
革新的な取り組み等。

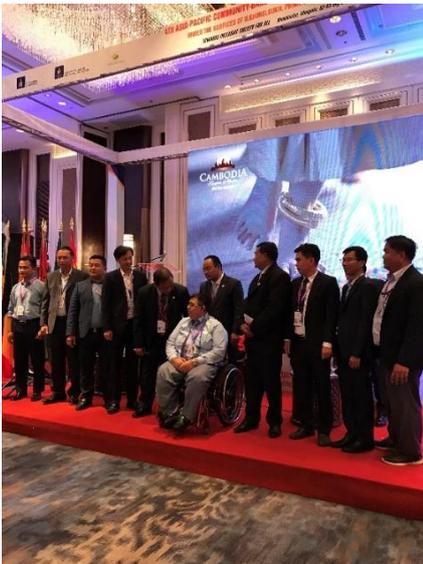
プログラムには全体会、分科会、サイドイベント、ポスターセッション、展示などがあります。

日本から 10 名近くが参加して、そのうち何人かは分科会やポスターセッションで発表を行ないま
す。

詳細は、公式ホームページからどうぞ (<https://cbid5.dac.gov.kh/>)

【アジア太平洋 CBID 会議について】

アジア太平洋地域におけるコミュニティベースのリハビリテーションネットワーク「CBR アジア太平洋ネットワーク (CBR AP ネットワーク)」は 2009 年に設立されました。このネットワークは、アジア太平洋障害者開発センター (APCD) が事務局として支援を行ってきました。

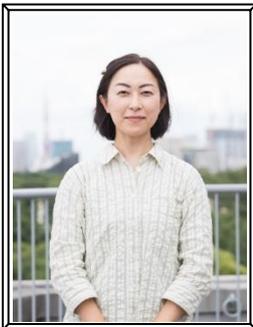


第 3 回アジア太平洋 CBR 会議 開会式の様子
(2015 年：東京)

今まで第 1 回 CBR 会議 (2009 年・タイ)、第 2 回 CBR 会議 (2012 年・フィリピン)、第 3 回 CBR 会議 (2015 年・日本)、第 4 回 CBID 会議 (2019 年・モンゴル) が開催され、成功裏に収められました。

左：第 4 回アジア太平洋 CBID 会議 閉会式にて紹介される、第 5 回開催国カンボジアの代表団 (2019 年：モンゴル)

【発表者プロフィール】



・野際 紗綾子 氏 (認定 NPO 法人 難民を助ける会 [AAR Japan] 支援事業部マネージャー)

法政大学大学院環境マネジメント研究科国際環境協力プログラム修了。外資系金融機関で勤務の後、2005 年 4 月に AAR に入職。2008 年ミャンマーサイクロン、2009 年スマトラ沖地震、2010 年パキスタン洪水、2011 年東日本大震災、2020 年九州南部豪雨等の緊急支援に従事。現在は、東京事務局の支援事業部でミャンマー、ラオス、タジキスタンの障害分野事業と日本の国内災害事業のマネージャーを務める。障害分野 NGO 連絡会 (JANNET) 幹事、日本障害者協議会 (JD) 理事。



・伊藤 智典 氏 (公益社団法人日本理学療法士協会 事業部国際事業課課長)

2004 年に青年海外協力隊としてエチオピアの大学と病院、地域で活動をした。Wales 大学大学院を卒業後、2010 年に日本理学療法士協会へ入職し、2019 年より現職。2018 年からは障害分野 NGO 連絡会 (JANNET) の研修・研究委員長を務め、様々な分野の方をお呼びした研究会を開催、『みんなの SDG s』のオンラインセミナーの企画や運営等、関連団体との連携も広く進めている。趣味はアウトドアアクティビティと、美味しいものを食べること。苦手なものは茄子の漬物。



・稲葉 久之 氏（公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会
「Let's 協力」研修アドバイザー）

青年海外協力隊、国際協力 NGO、まちづくり団体を経て、現在はフリーランス・ファシリテーターとして各種研修やワークショップの企画運営に携わる。コミュニティを支援する外部者の役割について関心を持つ。南山大学大学院修了、修士（教育ファシリテーション）。愛知淑徳大学、金城学院大学、名古屋外国語大学、日本福祉大学非常勤講師。



・上野 悦子 氏（公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会
CBID 事業委員）

明治学院大学卒業後一般企業勤務。日本赤十字語学奉仕団にてボランティア活動に参加。その後日本障害者リハビリテーション協会に入職し、JICA 研修や国連 ESCAP アジア太平洋障害者の十年の推進にたずさわる。CBR の推進にも関わり、コミュニティ開発への関心が広がり、日本福祉大学大学院国際開発研究科修了。清水基金の海外研修で、スウェーデン、スリランカ、ラオスを訪問し障害分野の国際協力を学ぶ。2015 年第 3 回アジア太平洋 CBR 会議の事務局長。障害分野 NGO 連絡会（JANNET）元事務局長。障害、アジア、地域、国際活動が重なって現在に至る。

【申込方法】

以下のサイト、または FAX にてお申し込みください。

<https://www.jsrpd.jp/cafe15/>

申込受付：2023 年 3 月 27 日（月）15：00 まで

※情報保障が必要な方は、3 月 16 日（木）までにお申し込みください。

定員満員になり次第、締め切りとなりますので、ご了承ください。

お名前、ご所属、ご住所を明記の上、手話通訳、要約筆記、点字資料など必要があれば申し込み時にお知らせください。

参加登録された方へ Zoom の URL をお送りいたします。

※ご提供いただいた個人情報は、日本障害者リハビリテーション協会の個人情報保護方針に従い、厳重に管理いたします。また、この情報に基づき、このシンポジウム、講習会等のイベントの開催案内、書籍のご案内その他当協会が有益であると判断する情報をご案内させていただくことがあります。ご案内を希望されない場合はその旨お知らせください。

【お申し込み、お問い合わせ先】

公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会 国際課 仁尾（にお）・村上
〒160-0052 東京都新宿区戸山 1 丁目 22 番 1 号

TEL: 03-5273-0601

FAX: 03-5273-1523

E メール：kokusai@dinf.ne.jp